

県立高等学校教育課題研究指定校事業～未来を担う人材の育成を目指して～
「知立市の未来を考えるシンポジウムーみんなが笑顔になれるまちづくりー」

11月20日（火）の午後、本校体育館において、「知立市の未来を考えるシンポジウムーみんなが笑顔になれるまちづくりー」を実施しました。このシンポジウムは、本校の総合的な学習の時間において、2・3年生全員が10月から11月の約1ヶ月間かけて取組んだ「地域課題について考える」のまとめとなります。「地域課題について考える」は、本校がある知立市の課題を調べ、その解決策を考え、知立市に提案するという取組です。その成果を基に、2・3年生から選ばれた代表グループが知立市職員に直接政策提言を行い、対話しました。

シンポジウムでは本校生徒7名と知立市の若手職員4名の方がパネリストをつとめ、知立市長および知立市議会議長を始め、他校の教職員の方々など多くの方々に参観していただきました。コーディネーターは岡山大学教育学部教授桑原敏典先生にお願いしました。

桑原先生の「高校生が作る地域の未来ー18歳選挙権が社会を変えるー」と題した基調講演の後 まず、2年生のグループは知立の文化財を活用する、「歴史スタンプラリーIN知立」や「てら婚（お寺をめぐるながら婚活イベント）」という提案を、3年生のグループは知立駅前に新たな賑わいをつくり出すために「外国料理屋台」「知立カフェタワー（全年代が利用できるカフェスポット）」を提案しました。それぞれのグループは提案をつくるに当たって、地域の問題点を自ら出向いて調査したり、クラスメイトや地域の方々から聞き取り調査を行い、自らの提案を作り上げて発表しました。

シンポジウムでは知立市職員の方々から問題点や課題を指摘していただきました。例えば歴史スタンプラリーについて「中高生は歴史的文化財には興味ないのでは」と指摘されました。しかし、生徒からは『御朱印女子』もいて、若者の中に歴史的文化財に関心を持つ人が増えている」と反論されました。また、他の提言についても知立市職員の方々の疑問点に関して、自ら調べてきたことを基に、しっかりと反論をしたり、政策実現の可能性や効果の有効性についてしっかりと主張することができました。

会の最後には知立市長の林郁夫様から講評をいただき、本校生徒が地域社会について考えるすばらしい経験ができました。

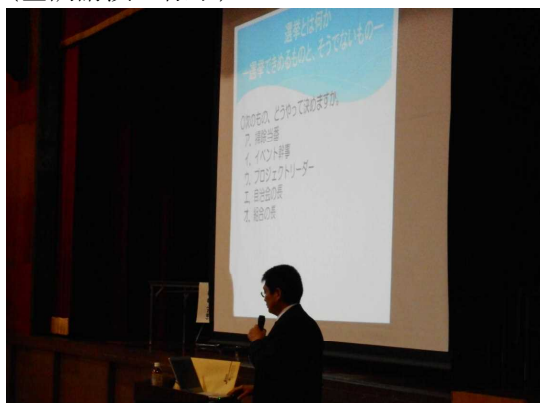
（生徒の発表の様子）



（知立市職員との対話）



(基調講演の様子)



(知立市長による御講評)



知立市への提言

提言

知立（ともだち）になろう

ねらい

長い歴史があるにもかかわらず、人々にあまり知られていない歴史的建造物や文化財の魅力について知立市観光案内所を起点にてPRし知立を盛り立てる。

方法

- 1 歴史スタンプラリー | N知立
- 2 てらコン

具体策

- 1 観光案内所に訪れる人が1日10人前後である現状を変えるために知立神社や弘法さんなど知立の名所に中高生が考えたデザインのスタンプを設置し、集めたスタンプを観光案内所にもっていくと景品をプレゼント。あと、観光案内所に無料WiFiを設置する。また、スマホ世代の中高生を主な対象としたスタンプラリーアプリを作成し、名所の写真を撮ることでポイントを集め、一定のポイントを集めるとカフェクーポンをプレゼントする。
- 2 てらコン：午前中は無料のレンタサイクルで知立市の名所をサイクリングしながらまわり、夜はイルミネーションを見る。

予想される効果

- 知立市への出入りが増え、町が活性化される。
- 若い人たちが出会え、生産年齢人口が増え、それにより子どもも増え、人口増加につながる。

課題（実現困難な点）

- 資金が多くかかる。
- カフェなど飲食店に協力を頼めるか？



知立市への提言

提言

『知立市の空き店舗、空きスペースを利用し、知立駅
周辺の活性化を行い、知立市の乗降者数を増やす』

ねらい

- 1 知立市には外国の方が多く住んでいる→外国人の方々との交流を図る。
- 2 知立駅周辺の活気が足りない→知立駅周辺の活性化を図り、にぎわいをもたせる。

方法

- 1 海外料理の屋台を設営する。
- 2 全年代を対象としたカフェ施設をつくる。

..
..

具休案

- 1 海外料理屋台
 - 知立市には外国の方がとても多く住んでいる。
 - 知立駅近くの線路沿いの道に気軽に外国料理が楽しめるような屋台を設置する。
 - 最初は月1回ぐらいからはじめる。
 - メニューは日本人の口にあうような、安価で食べやすいものを選ぶ。
- 2 知立カフェタワー（3階建て）
 - 女子中高生に人気の話題性のあるSNS映えるカフェ。2人席多め。テーブル。工夫を凝らしたメニュー。
 - 子どもが遊べるようなスペース付きのママ友で集まれるようなカフェ。
 - サラリーマンや男子中高生が入りやすいシックなカフェ。一人席多め。勉強でしごとがしやすいスペース。
 - お年寄りが大人数でゆったり集まれるようなカフェ。ほりこたつや円卓が中心で長居できそうな空間。

予想される効果

- 1 知立駅周辺が活性化し、乗降客が増える。
- 2 外国人の人と交流することができる。
- 3 話題になり人が集まる。

課題（実現困難な点）

- 近隣住民に迷惑がかかる？（近隣住民向けのクーポンやサービスの提供）
- 治安が悪くなる？（営業時間を考えあまりおそくまで営業しない）
- 具材の仕入れは？（知立の農家が作った野菜などを地産地消）
- 流行する？（SNSなどで宣伝、市の広報などに載せてもらう）
- 誰が運営する？（カフェはパートやバイト。カフェのママ友コーナーは保育施設のようなものなので先生を目指す。大学生など。屋台は、今知立で営業している外国人の方などを募集する。）
- お年寄りがわざわざ来る？（コミュニティーバスを推奨する。停留所を増やす）

